

わたりだ

2025. 1. 31

渡田小学校教育目標
やる気いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい
川崎市立渡田小学校

遊ぶこと

学校長 楠田 典子

先日実施した学校評価アンケートには、全家庭数591家庭のうち、75パーセントを超える444家庭の皆様にご協力いただきました。昨年が60パーセント程度の回答率だったことと比べると高い伸び率で、教職員一同感謝しております。年末年始のお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。と同時に、多くのご家庭から渡田小学校の教育活動に注目して頂いていることに、改めて襟を正さなければ、とも思います。このアンケートの結果や分析については、保護者の皆様から寄せられた回答と合わせて、児童・教職員へのアンケートの回答も含めて2月14日の学校教育報告会でご報告させていただく予定です。金曜日の10:00~11:00という時間帯での開催ですが、多くの皆様にお越しいただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、1月25日（土）に寺子屋の体験活動「お正月お楽しみ会」が渡田小学校を会場に行われました。凧あげや羽根つき、けん玉など、昔から子供たちが親しんできた冬の遊びで楽しむコーナーに地域の大人の皆さんがサポーターとして終結！その数は、参加した子どもの数と同じかそれ以上で、子どもたちと一緒に遊んでくださいました。校庭や体育館では大人と子どもが上げる大きな歓声



声が続いていました。やはり昔の遊びは体を動かすものが多く、凧のように風という自然の力をうまく利用しないと楽しめないものもあり、遊びを通して自分の体の使い方や自然に対する観察力を育てているのだなあと感じました。そして、デジタルの刺激的な遊びに慣れている現代の子どもたちも思い切り楽しめるものなんだと、少し驚きました。



子どもたちが（大人たちも）思い切り体を動かして遊んだ後は、炭火で焼いたお餅を使っておしるこを作り、みんなで食べました。中には「3杯食べた！」という強者も……。その際には、今年も「子どもカメラマン」が今まで撮りためた町の映像を自分なりに編集した作品を皆で見ました。今年は川崎市の市制百周年に合わせて富士見公園で開かれた緑化フェアを撮影した作品も多くありました。もちろん今年も秋に大島小で開かれた「ふれあいまつり」取材した作品もありました。



普段学校では、一生懸命「学ぶ」ことが重視され、子どもたちに対して私たち教員も、当たり前ですが、学ぶことを要求することがほとんどです。でもこの日は朝から「今日は思い切り遊びましょう！」という掛け声で活動が始まり、子どもも大人も夢中になって遊んでいました。子どもというのは本来、こんな姿、表情なのではないか、とふと考えさせられました。